



え.みえこ
年長版

ろりぽっぷ幼稚園 週刊園だより

ろりぽっぷ

2021年 6月 4日 1167号

幼稚園 048(792)3104

HPアドレス
<http://wakuwaku-dokidoki.com>

来週の予定

7日(月) 春日部お話の会 (年長)

8日(火) ピーカーブー
ラッククラブ



お着替え袋の
衣替えについて

6/7(月)にお着替え袋を
持ち帰りします。中身の点検・
補充をして6/8(火)に持た
せてください。汚れた物を
入れる袋を用意して頂けると
助かります。

※全ての持ち物に記名を!!

今年は大豊作



三度目の正直、年長遠足 ～ハ幡山～

三度目の正直でようやく実現した年長組の遠足。待ちわびていた自分達の番がやってきたと、子どもたちのテンションもいやが上にも高まります。あまの喜びように、保育者たちも危険がいや場所だけに、心を引き締めての出発です。

年長組の目的地ハ幡山は、春日部市八木崎駅北側のハ幡神社の境内にある標高17mの小山です。どのくらいの傾斜が説明できないのが残念ですが、子どもたちにとっては挑戦しようという気持ちがかきたえられる、適度は危険箇所もあるスリル満点の山です。斜面を、木の根っこにつかまりながらよじ登ったり降りたりする動作は、5歳児ならではの筋力やバランス感覚が必要です。

この日の子どもたちの様子は個性いろいろ。始めはおよび腰だった子も、回を重ねる毎に重さもスムーズで、危ないと思うと膝を落とし、おしりですべったり。かと思えば、勢いがついてしまい、斜面を馬駆け降り、ハラハラする場面も見られました。なせかゲンゴロウになりまして四つんばいになって降りてくるグループもいて、笑ってしまいました。

車云でも痛くても、誰ひとり泣きごを言わず、すぐさま立ち上がりチャレンジする姿に、成長を感じるのと共に、楽しさやチャレンジしたいという気持ちが痛さや怖さをはるかに越えていたのたを感じました。苦手や挑戦を持っている友だちを気遣って、手を引いたり助け合って登ったり降りたりする姿もほほえましくありました。

一回登る毎に園長からラムネをもらい、エネルギーをチャージ。何度も登る子どもたち。400粒ほどのラムネが空っぽになりました。

今回訪れたハ幡神社は、境内から稲荷大明神にかけて春日部の三砂丘のひとつ、深川戸砂丘だと、地質学者の友人から教えてもらいました。え、海のない場所なのになぜと不思議でしたが、「榛名山や浅間山の火山灰に由来する大量の砂が、平安時代から室町時代に強い季節風により吹き溜められて開成された内陸性の砂丘」だそうです。他に藤塚砂丘、小瀬砂丘があるようで、初めて知り驚きました。

(園長)



2021_06